

令和7年度 第3回 五ヶ丘地区教育環境検討協議会 次第

日時 令和7年11月15日(土)

午前10時30分～正午

場所 益富交流館 大会議室

頁

1 前回会議録の承認

2 協議事項

- (1) 五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等 1
について(その2)

3 今後の協議会日程(予定)

第4回 令和8年 1月18日(日) 午後 3時～

・ワークショップの全体スケジュール及び第1回ワークショップの内容

第1回 WS 令和8年2月又は3月を予定

五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等について（その2）

1 第2回協議会におけるテーマ案等に関するグループワークまとめ

グループ①	
キーワード	テーマ案等
9件 地域との 関わり	・五ヶ丘の情報を子ども・お年寄り関係なく手に入れるにはどうしたらよいか
	・お年寄りと子どもたちの交流機会があれば良いと思うか。やるとしたらどんなことがやりたいか
	・お年寄りのリソース・若者のリソースを活用するにはどうしたらよいか
	・五ヶ丘小と東小が交流するとしたらどんなことをしたらよいか
	・子どもたちが楽しんで参加できるイベントはどんなものがあればうれしいか
	・若い子が満足する行事はどんなものがあるか
	・子どもたちがやりたい遊び・スポーツは何か（3つか5つ出してもらう）
	・地域（自治区）と学校のかかわり方
	・高齢者と小学生の関わり（小学生と働くお母さんを助ける）
8件 学校やま ちの「魅 力」	・通わせたい学校とは
	・魅力のある学校とは
	・小学校の理想とは
	・子どもたちにとって理想の学校とは？どんな学校を作りたいか
	・高齢者の考える良い小学校とは（昔を振り返って）
	・ふるさとのような小学校とは
	・緑豊かな自然を活用するとしたらどんなことがある？
	・五ヶ丘の魅力を作るとしたら？
8件 こんなト コがほし い	・どんな施設が欲しい？（跡地の活用）
	・例えば小学生と高齢者のボランティアをマッチングし、小学校建物の活用ができないか
	・五ヶ丘にどんなお店があったらうれしいか（わざわざ駅前まで行かなくてよいように）
	・現在の公共交通機関を住民が満足するレベルまで上げるにはどんな方法があるか
	・五ヶ丘でみんなが集まる場と言ったらどんなものが欲しい？
	・児童含め、これから小学校へ入る子どもを対象にしたとき、どんな設備（遊び場、集える場所、運動施設）があればうれしいか
	・遊ぶ場が減っている今、どんな遊ぶ場や施設があればよいか？
	・どんどん習い事が遠くに行かないとできないので、近場で習い事ができるようにするにはどうしたらよいか？
5件 五ヶ丘の 学校の将 来	・今の学校に足りないもの、これからの時代に必要なもの
	・統合したらできることは？
	・両小学校とも児童数が減っている中、児童にとって「良い教育環境」とはどのようなものを目指すか。実現するために何をすれば良いか
	・この先、学校で何ができなくなるの
	・10年後、統合して良かったと思われる学校にするには？

5件	・今の学校の良いところ、イヤなところは？（保護者・子どもに聞きたい）
今の学校の良いところ・悪いところ	・各小学校の良いところ・悪いところ
	・今の小学校の良いところ・悪いところ
	・五小と東小の特色を知る、考える
	・H24・H29・R4の小学生だった人たちの思い出（ぼくたちの小学校）
不安・心配	・自分（の子）が通っていた小学校ではない小学校に統合された場合、どういう小学校になれば不満がなくなるか
	・統合の不安・不満・心配
	・ネガティブな意見（「ワクワクするテーマ」ではポジティブな意見しか出にくい）
	・未就学児・幼児のいる家庭の思いの吸い上げ
安全・安心	・登下校の安全を考える
	・登下校の安全をどう守るか？
	・安全・安心な学校とは？
ほかの学校	・他の小学校（人数の多いところ・少ないところ）はどのような学校生活を送っているか（見学・体験的要素を加えても良い。ベンチマークもやってみたい）
	・五ヶ丘以外の学校はどうなっているのか知ろう

グループ②	
キーワード	テーマ案等
9件 こんな学校に通わせたい	<ul style="list-style-type: none"> ・五小の良いところ、東小のよいところ ・五ヶ丘だからできる学校教育は何か ・子どもさんのために学校をどのようにしたいのか ・子どもたちにとって魅力ある学校は何か ・こんな小学校に通いたい（通わせたい） ・PTA・自治区ではなく学校の先生は何が理想か推測する（10人のクラス、25人のクラスどちらが教育環境として良いか） ・子どもや地域の誇りになる学校を作るには ・他の学区が目標・憧れる学校は何か必要か ・そもそも今の五ヶ丘小・東小の良いところはどこで、何が足りないか。ベンチマークの共有
5件 学校再編	<ul style="list-style-type: none"> ・統合するとどんな良いことがあるか確認 ・統合した小学校に期待すること ・新しい学校にとり入れてほしいことは何か。特色のある学校にするには。 ・どちらの小学校を残した方が本当に良いか。メリット・デメリットを再確認・共有する ・合併校だからこそできる学び・遊びは何か
不安・心配	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が統合されることについて不安なこと、心配なこと ・統合すると不安なこと、心配なこと ・PTAが不安に思っていることを聞きたい ・再編について障害、問題は何か
小規模化の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級は何が問題なのか知る ・少人数について良いところ、悪いところ（対象：小学生の親） ・人数が少なくて困ること、良いこと

	・今のままの小学校でどこが悪いのか議論する
跡地活用	・跡地にできてほしいもの
	・一つの小学校跡地の有効活用案は
	・施設の活用方法について
安全・安心	・安全について、現在とどちらかになった場合
	・安全安心な学校。登下校も含め地域でできることは
地域と学校	・全世代に優しいまちとは何が必要か
	・学校と地域がつながるには何が必要か
行事・イベント	・今のままでイベント（運動会、学芸会等）だけ合同で行うことは考えられないか意見交換
	・部活・学校行事について
運営方法	・子どもの意見を確認するワークショップ
	・小学５・６年生と中学生を入れて今後の学校について
	・最終的には子どものために学校をどうするか
	・子どもに負担がかかることを対策すれば良い
	・学校を統合したときの WS
	・PTA のアンケート結果を基に WS
	・新しい学校を作るための WS

五ヶ丘の新しい学校を語る住民参加型ワークショップのテーマ等について

1 9月28日の五ヶ丘まちづくりワークショップへの参加後の意見交換

参加した感想や協議会におけるワークショップに参考となる部分などについて、参加していただいた方にお話しいただき、意見交換をしましょう。

2 委員から事前にいただいたワークショップのテーマ案等に関する御意見

- 事前にいただいた以下の意見も参考にして、フセンに改めて意見を書きだしましょう。
- フセンの意見をグループ化してみましょう。

(1) テーマ案

- ・ 少人数ではできず、人数が増えたらやりたい事
- ・ 皆がすみやすい五ヶ丘
- ・ 五ヶ丘の魅力は何だろう？(特色あるまちづくり)
- ・ どんな学校を作りたい？(新しい学校について)
- ・ どんな施設があったらいいかな？(施設の活用方法について)
- ・ 児童減少だけでなく住民減少高齢化に向けて五ヶ丘の魅力を発信する対策の検討
- ・ より良い学校にするために、参考にしたい他校の取組みを学び、新しい学校に向けて既存の小学校でも真似して取組む
- ・ 子どもが安心して通いたいと思える学校作り
- ・ 学校を中心にした良い地域づくりのために、何をしたら良いか、何ができるか

- ・ 「学校が統合されることへの不安・心配なこと」というテーマで意見をだしてもらい、こんな学校ならそういった不安や心配はなくなるんじゃないか、話し合ってもらえば住民の皆さんも前向きな気持ちになれるのでは。
- ・ 住民の不安感や心配事を吸い上げずに再編後の明るい未来だけを考えましよう的な感じだといつまでも反対の人は納得しないのでは。しっかりとマイナスの意見をくみ取ったうえで、それを解消していかないと上手く進んでいかないと思う。

<みんなで考えようこれからの小学校>

- ・ 主に、現在実際に五ヶ丘小と東小に通っている児童とその保護者、今後両小学校に通う予定の未就学児がいる保護者を対象に、地域に住む方と一緒に五ヶ丘小と東小の現在とこれからについて考えます。
- ・ 未就学児の保護者の方の中には、小学校がどんな感じかよくわからない方もみえると思うので、まずは各小学校の現状や課題などを理解してからでないと話し合いに参加することは難しいのではないのでしょうか。導入として各小学校の説明（行事、学校独自の取り組みなど）や実際に通っている児童や保護者の話を聞く時間が必要ではないかと考えます。
- ・ 理解が深まった段階でざっくばらんに、こんな小学校に通いたい（通わせたい）、こんな小学校がいいな！などグループごとに話し合い、意見を出し合って、いただいた意見をもとに今後のワークショップのテーマを考えていくのも良いのではないのでしょうか。

- ・ 子どもたちにとっての理想の小学校とは？
- ・ 子どもや地域の誇りになる小学校にするには？
- ・ 五ヶ丘地区×小学校の今までにない新しい取り組みとは？
- ・ 合併校だからこそ実現できる“学び方・遊び方”は？
- ・ 10年後、“合併してよかった”と思われる小学校にしていくには？
- ・ 安全な登下校を保障するには？

- 統合の賛否
- 統合することによって予想されるメリット、デメリット、そこからどう改善できるのか
- 統合し環境変化による児童のストレスをどうしたら緩和出来るか(何年かかけて五ヶ丘と東の交流行事を増やしてほしい)
- だれもが通いたくなる小学校にする為には何が必要か
- 五ヶ丘の小学校の歴史

(2) その他のワークショップに関する御意見等

- ・子どもも一緒に参加
 - ・皆が集まれる夏祭りやウォークラリーを使って「小テーマ1：五ヶ丘の好きなところと嫌いなところ」「少テーマ2：五ヶ丘にあったらいいなと思うもの」シールによる投票など
 - ・五ヶ丘をより良くしていくために、特色ある学校ができたらいいいなと思います。人を絞りすぎず、多くの人から前向きな意見がもらえたらいいなと思っています。
 - ・都合、議事録・決定事項・締切日などを明確にして共有していただきたいです。
 - ・進め方の工夫
- 安心して話せる雰囲気づくり
- 否定しない、意見を歓迎するルールを最初に共有する。
- 多様な声を拾う方法
- 発言が苦手な人向けに「付箋に書いて貼る」「匿名カード回収」を用意。
- 対立を和らげる工夫
- 「失う／なくなる話」よりも「残す／つなげる話」に問いを変換。
- まとめやすくする仕組み
- グループごとに模造紙へ貼って整理 → 全体で共有。
- ・ファシリテーションの工夫
- 子ども・保護者・先生・地域など、立場ごとの視点を意識してもらう。
- 不安や疑問は「課題ボード」に集めて見える化し、その後に解決アイデアを考える。
- 最後に「すぐできること」「将来に向けて準備すること」を分ける。
- ・実施形態の工夫
- 小グループ制：4～6人単位で話すと安心して発言できる。
- テーマごとにローテーションする「ワールドカフェ方式」も有効。
- 子どもの声を直接拾う場（子ども版ミニワークショップ）を別途つくと、説得力が増す。
- ・8/2の議事録で、アンケートを取らない理由が分かりました。であるならば、その理由をもって、統合へのロードマップ（いつまでに、誰が、何をする）が欲しいです。期限がないと、決めていかねばならないことも、決められない気がします。
- ・地域としての魅力を高めるためには、廃校となった小学校の跡地をどう活用するかが大事だと思うので、そのあたりがどうなっていくのかの説明があると良いかと思う。個人的にはこどもが安心して遊べるような施設になると子育て家庭には魅力的になると思う。跡地について地域の要望を言えるならテーマとして設定してもよいと思う。
 - ・あと再編する場合、どちらの学校を残すのか、またどうやってそれを決定するか、いつ決定するのか等の情報を第2回協議会で教えていただけるとありがたいです。
 - ・かわら版などで情報発信をしていますが、実際の当事者にあたる未就学児の保護者の方にきちんと情報がいきわたっているのか心配です。再度未就学児の保護者を対象に現状を理解していただく機会を設けても良いのではと思います。

- ・以前の説明会に出席した保護者の中には、再編が実現するのは決定してから早くても4、5年かかるという話を聞いて、当事者意識が薄れてしまった方もいると思います。みんなで考えて、みんなで新しい小学校を作ろうといった感じで在校生やその保護者も巻き込んで進めていけるといいのではと感じました。
- ・また、五ヶ丘小、東小の卒業生から意見を聞く機会があってもいいと思いました。
- ・小学生のお子さんの保護者の方にも積極的に参加していただけるように小学校や地区での声かけを徹底してください。
- ・進行役の方がボードを見やすくまとめてくれると意見も出やすくなると思います。
- ・統合する場合どちらの小学校にするのか
- ・ワークショップとは何ですか？ ショップとつくとお店か何かやるのか？ と勘違いと思うので別の名前の方がいいと思う

3 市の方針決定までの想定スケジュール

	令和7年度		令和8年度			
	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
協議会	●	●			●	
	テーマ決定	全体スケジュール等			まとめ	
WS		◆	◆ ◆	◆ ◆ ◆		
		第1回	第2-3回	第4-6回		
市教委					◎	◎ ◎
				学校再編（案）の提示		意見募集 方針決定

※ワークショップの内容はかわら版などを通じて広く周知していきます

※ワークショップ期間中に、必要に応じて協議会で中間まとめや意見交換などを実施する場合があります

※学校再編（案）の提示や意見募集の時期は、ワークショップのテーマ等に応じて検討するため、前後することがあります